



小中一貫校 北山校



学校教育目標

感謝・絆・全力

～小中一貫教育と各種交流活動によって主体的に学ぶ児童生徒の育成～



<目指す学校像>

- ・ 自他の命と自由を尊重し、他者と合意形成する力と感謝の心を育む学校【尊重】
- ・ 仲間・保護者・地域等との繋がりづくりと多様な人々と協働を推進する学校【創造】
- ・ 自ら意欲的に学び・考え、確かな学力と健やかな体、体力を育む学校【自律】



<目指す児童生徒像>

- ・ 自分と他者の命や自由を大切にし、感謝の心を自ら言動に表すことができる子ども
- ・ 人との絆を大切にし、互いに高め合い、助け合い、喜び合う子ども
- ・ 常に、自ら全力を尽くそうとする心を持ち、主体的に学習に取り組む子ども

子どもの Well-being の実現



<目指す教師像>

- ・ 出合いに感謝し、自ら意欲的に人間力・指導力の向上に努める教師
- ・ 北山校の一員としてチームワークを心がけ、地域を含めた多様な人々との絆を大切にする教師
- ・ 情熱と謙虚さをもって児童生徒の主体性の伸長に全力を尽くす教師

9年間の学びと伸びが見える教育システム

9学年の子どもが見える校舎

北山校の小中一貫教育

4・3・2制による教育システム

- 前期（1・2・3・4年）中期（5・6・7年）後期（8・9年）
- 4・3・2制を生かした校時表
 - 小学部複式学級の多様な授業
 - 中学部教師の専門性を生かした授業
 - 異年齢集団による交流活動
 - 他校や海外との多様な交流活動。
 - ふるさとと関わる授業・活動
 - 小中一体化した児童生徒会活動
 - 9年間で育てるリーダーシップ

校舎一体型小中一貫校北山校の特色

- ◇ 前期（45分授業）、中・後期（50分）授業に対応するための完全ノーチャイムの生活
- ◇ 9学年一緒の全校集会、児童生徒集会
- ◇ 前・中・後期ごとのブロック集会、教務センターの机配置
- ◇ 小中一体化した校務分掌
- ◇ 中期・後期による児童生徒会活動
- ◇ 9学年が一緒に食べるランチルームでの給食
- ◇ 9学年が交流する昼休み

ゆたかな心「感謝」=尊重 合意形成する力、感謝の心を育む

- 命の尊さ・重さを深く心に刻み、自己肯定感を育む活動を系統的・計画的・組織的に推進する。
- 道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心と道徳性を養う。
- 人権・同和教育を全ての教育活動の根幹と捉え、人権感覚を磨き、一人ひとりを大切にした教育活動の推進を図る。
- ボランティア活動を児童生徒主体で行い、生徒自らが、支え合い助け合うことの大切さに気づき、自ら動く活動を推進する。
- 自分も他者も尊重し、話し合い伝え合いながら合意形成する力を育む。

絆づくり「絆」=創造 協働する力、新しい価値を生み出す力を育む

- 互いに高め合い、助け合い、喜び合う学級づくりを通して人との「絆」を深める力や自己肯定感、人権意識を高める。
- 縦割り班活動、児童生徒会活動や各ブロック活動を通して人と繋がる力（人間関係構築力・調整力）を養う。
- 国内外との遠隔地交流や市内小中学校との直接交流を通して、異なる地域・文化・習慣・価値観の違いを理解し、意欲的に多様な人々と関わろうとする力を養う。
- 地域連携行事を通して積極的に人と関わる力やふるさとを誇りに思う心を育む。
- 最新技術や学びの資源を活用して探究的な学習を行い、創造する力を高める。

学力向上「全力」=自律 自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力を育む

- 「北山校授業モデル」（つかむ→見通す→考える→深める→まとめる）に基づく取組の充実・深化を図る
- 自分で考えるための、基礎・基本を確実に習得させる指導の充実を図る。
- 自分で決めて、主体的に学ぶ意欲を高めさせるための指導方法や手立ての充実を図る。
- 自学の方法を身につけさせる指導の充実を図る。
- 家庭・地域と連携し、9年間を見通して発達段階に応じた主体性の高まりを意識した指導体制の充実を図る。